

神戸医療福祉センターにこここハウスご利用の皆様  
新型コロナウイルス感染経過のご報告

2022年12月27日

院長 河崎洋子

いつも当センターの運営にご協力ありがとうございます。

この度は、当センターの病棟で新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により、ご利用者様及びご家族に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

今回のクラスターの経過は、12月6日にBフロア入所利用者様2名の陽性が判明し、最終的に入所利用者様39名と職員40名が新型コロナウイルス陽性となりました。入所利用者様と職員の発症日の経過は下記の通りです。最終の職員発症は12月15日、利用者発症は17日で、12月28日に利用者様全員の隔離解除となる予定です。

これまで多くの重症心身障害児者施設でのクラスターの経過報告を聞く中で、凄まじい感染力のため利用者様が動ける軽症の病棟でクラスターとなった場合は、感染拡大を阻止することは大変困難であると認識していました。2つの病棟にクラスターが波及すると職員不足が長期化して施設全体の運営が破綻するため、1つの病棟にクラスターを抑え込むことを最優先目標として取り組み、在宅支援事業を休止して、全職員の応援体制で臨みました。結果的には、Aフロアへの感染拡大は阻止できましたが、Bフロア利用者様43名中39名が発症して、11名の利用者様は一時的に点滴などの加療を行い、2名の利用者様が転院加療となりました。罹患した利用者様、職員は治癒もしくは回復傾向となり、全利用者様の隔離を年内に解除できる運びとなりました。在宅支援サービスは12月23日より一部再開していますが、2023年1月4日より全面的に通常のサービス提供体制に戻す予定です。

全国的な感染拡大が続いていますので、今後引き続き職員一人一人の標準予防策の徹底に改めて取り組む所存です。